

雲の上のまち



広報

けさは

3月号

2025
〈令和7年〉

No.801

水道料金改定のお知らせ 〈P2〉

雪の和田城（令和7年2月6日撮影）

梶原消防団・女性消防隊出初式

2月9日、「令和7年梶原消防団・女性消防隊出初式」を、連日の降雪のため規模縮小という形式でゆすはら夢・未来館にて開催しました。

当日は、消防団員70名、女性消防隊4名が集結し式の間、消防団員123名、女性消防隊8名が各所で待機をしました。吉田町長をはじめ、土釜町議会議長他町議会議員、池田高幡消防組合組合長、片岡須崎警察署長を迎え盛大に執り行われました。

森田団長から、「昨年町内で2件の火災が発生したが、消防団員の日々の訓練によって、住民が安心して暮らせる梶原町を目指す。また今年一年が災害の無い年であるように願うとともに、消防団員の安全を祈念する」と訓示がありました。

その後、表彰伝達および表彰披露が行われ、令和6年度退団者の内5名に消防庁長官退団者賞状、8名に高幡消防組合長退団者感謝状が授与されました。続いて、3名に高幡消防組合功労章が贈られました。

その後、吉田町長挨拶、土釜議長、池田高幡消防組合組合長、片岡須崎警察署長から祝辞をいただきました。

た。

式典終了後は、各分団の機械器具の点検、消火栓、防火水槽、消防道の点検、高齢者の住宅を訪問し、災害への備えや火気取扱場所等の安全確認を行いました。

点検終了後に初午行事や、火鎮祭の神事で一年間の無事故無火災を祈願しました。

【表彰者披露】

●消防庁長官 賞状（退団者）

（元階級 勤続年数順）

第4分団	副分団長	下元 一利
第2分団	分団長	神明 司
第5分団	部長	梶原 哲哉
第3分団	班長	松山 修
第2分団	班長	藤井 順

【表彰披露】（敬称省略）

●高幡消防組合長感謝状（退団者）

（元階級 勤続年数順）

第4分団	副分団長	下元 一利
第2分団	分団長	神明 司
第5分団	部長	梶原 哲哉
第3分団	班長	松山 修
第2分団	班長	藤井 順
第1分団	班長	影浦 末広

●高幡消防組合長（功労章）

第1分団	班長	池田 朋宏
第1分団	団員	堀 情二
第5分団	部長	中越樺寿樹
第2分団	班長	中越 義人
第5分団	団員	吉門 武寿

高幡津野山分署



水道料金改定のお知らせ

梶原町の水道事業は、老朽化が進む水道管や水道施設の更新、地震に備えた耐震化などに今後多くの費用が必要となり、経営は非常に厳しいものとなる予想です。

利用者のみなさまにはご負担をおかけしますが、これから安全でおいしい水をお届けするため、4月検針分から水道料金の基本料金を改定させていただきます。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

※下水道・農業集落排水処理施設使用料については変更ありません。

改定内容

●基本料金改定

600円から800円

（松原地区以外）

●減免制度廃止

500円から1,000円

（松原地区）

300円から800円

（松原地区以外）



環境整備課

梶原消防団・女性消防隊 熊本で被災地研修

豪雨災害や地震災害等の被災地において、避難や救助、復旧の状況について学び、今後の消防団活動に役立てることを目的に、2月13日から3日間、梶原消防団幹部9名、女性消防隊3名が熊本県での被災地研修に参加しました。

今回の研修では、令和2年7月豪雨災害で被災した人吉市及び令和5年7月に開館した南阿蘇村の熊本地震震災ミュージアムKIOKUを訪れました。

人吉市では、人吉下球磨消防本部の赤池消防司令補より豪雨災害時の被災状況及び活動状況についてご講話いただきました。この災害では、線状降水帯の長期停滞により球磨川が氾濫し、

広範囲で浸水被害が発生し、人吉下球磨消防組合管内では人吉市で20名、球磨村で25名の方の尊い命が奪われました。赤池氏より写真や映像を用いて被害の甚大さや、発災時から受援体制までの対応や課題についてご説明いただき、救助活動にあたった消防隊員自身も避難せざるを得ない切迫した状況や情報共有の難しさなどを学びました。

また、熊本地震震災ミュージアムでは、映像により熊本地震を振り返った後、語り部ガイドにより被災時の写真や震災遺物など施設を案内していただきました。その中で、地震発災時に南阿蘇村に隣接する西原村では、救助活

動で消防団が活躍されたという話がありました。西原村消防団では、災害時に一戸一戸住宅を回り地域住民の安否確認を実施するなど、日頃から消防団と住民の距離が近かったこと、また、地震の前年にチェンソー等を用いた被災家屋からの救助訓練を実施していたとのことで、その訓練の成果が発揮されたそうです。

今回の研修により、大規模な災害が発生した場合には、公助の支援が入るまでに時間を要するため、地域の安全確保のために消防団が果たす役割の大きさを改めて認識するとともに、南海トラフ地震や近年甚大化している風水害などに備え、行政、消防団、自主防災組織などが協力し、日頃から実効性のある訓練等を重ねていくことが大事だと感じました。

参加者レポート

●道路や通信網の寸断が起こった場合の情報伝達について、どう対応すべきか考えさせられる研修となった。

●消防団としてできる救助訓練を実施していきたい。

●消防団には、消防署のような機材や技能がない中で活動しなければならず一抹の不安を感じた。

●発災後1日目から7日目までの献立が載った「在宅避難のための食事の備え」というパンフレットが参考になった。

●日頃から地域住民と交流し、危険箇所の把握や活動状況など情報共有をしていきたい。



梶原消防団



企業版ふるさと納税
株式会社高知銀行様から
ご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税制度により、高知銀行様から寄附をいただき、1月14日に高知銀行本店において感謝状贈呈式を行いました。心からお礼申し上げます。

株式会社高知銀行

寄附日 令和6年9月25日

寄附取組

脱炭素社会を目指す事業、
学ぶ機会の創出事業



海治勝彦頭取との記念撮影

【問合せ】

まちづくり産業推進課 地域振興係

☎ 65・1250

第11回梶原町芸術祭事業 「落語家立川談慶独演会」

2月16日、第11回梶原町芸術祭の芸術文化イベントとして、「落語家立川談慶独演会」を開催しました。

立川流真打である、立川談慶さんは、日本が誇る伝統的な話芸、落語の魅力を確かな技術と鋭い感性で今に伝えていきます。

当日は、江戸落語の演目の一つで、言葉を知らないことをごまかして生じる滑稽なやりとりを描いた噺「転失気」、江戸時代の長屋文化や、庶民の気質がよく表れた落語の代表的な作品「粗忽長屋」を披露いただきました。何度も笑いが起き、最後には、大きな拍手が送られました。

また前日15日には、雲の上の図書館において、「落語から学ぶ、ちょうど良い人付き合い」と題した立川さんの講演会を開催しました。

落語の世界で楽しく生きる登場人物たちから、人情と笑いがあふれる関係作りについて、楽しく学ぶことができました。

他者の目線に立って人間関係を取り持つことが、ストレスの無い社会を築くヒントになるようです。

立川談慶様、そしてご来場の皆様、ありがとうございました。

梶原町芸術祭実行委員会



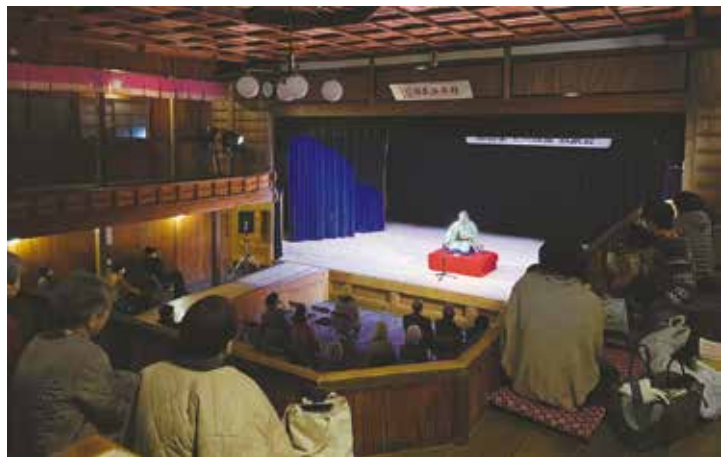
講演会の様子



熱心にお話を聞いています！



独演会の様子



2階にもたくさんお客さんが入りました

国民年金保険料 学生納付特例制度の ご案内

国民年金は20歳以上であれば、学生も加入、国民年金保険料を納付しなければなりません。

しかし、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

ただし、学生納付特例の期間は年金額に反映されないことから、将来受け取る年金額を増額するためにも、後から納付（追納）することをお勧めします。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外の日本分校に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】
128万円＋
(扶養親族等の数×38万円)

申請手続きは申請書、在学中であることを証明する書類のコピー、年金番号（またはマイナン

児童等福祉医療費の助成について

対象者は、申請手続きが必要です



児童等福祉医療費の助成

梶原町では現在、高校生等（18歳に達したのち最初の3月末までの児童等）までを対象として福祉医療費の助成を行っています。助成を受けるには、保健福祉課で申請手続きが必要です。

対象となる児童等

梶原町に住所を有し、平成19年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた児童等

★寮など梶原町に居住しているが住所異動がお済みでない場合は、転入手続き後に申請できます。

ただし、転入前住所地で同様の福祉医療費制度の受給者である場合は、大変お手数ですが**転入手続きの前に**必ず保健福祉課福祉係へご連絡ください。

対象外となる児童等

- ・梶原町外に住所がある
- ・就労している
- ・婚姻している
- ・生活保護の扶助を受けている
- ・ひとり親家庭等医療費受給者証（ピンクの証書）の交付を受けている

申請に必要なもの

- ・認定申請書
- ・学生の方のみ学生証のコピーまたは在学証明書
- ・印かん
- ・児童等の医療保険の加入状況を確認できる、次のいずれか1点
- ・現在お持ちの有効な健康保険証のコピー
- ・保険者から交付された「資格確認書」又は「資格情報のお知らせ」のコピー
- ・マイナポータルの「資格情報画面」を印刷もしくは画面を窓口に提示

（マイナポータルのログインにはマイナンバーカードが必要です）



※この春、高校生になる方へ

4月診療分から助成を受けるには、5月末までに新たに申請が必要となります。なお、町外から転入された児童の助成開始は、転入日からとなります。6月1日以後も随時受付をしています。が、助成を受けられるのは申請日からとなりますので、お早めにお手続きください。

【問合せ先】

梶原町保健福祉課

福祉係

☎65-1170

2024年12月2日から、従来の被保険者証は新たに発行されなくなりました。



保険者から「資格情報のお知らせ」または「資格確認書」が届きましたら、従来の保険証の代わりになる他、各種行政手続きに必要ですので、必ず大切に保管ください。

（※2024年12月2日までに発行された被保険者証は、2025年12月1日まで、最長1年間は利用できます。従来の被保険者証も有効期限の到来まで大切に保管ください。）

ご不明な点がございましたら問い合わせ先までご連絡ください。

【問合せ】高知西年金事務所

☎088-875-1717

マイナポータルはこちらから



バーが必要。また、マイナンバーカードを使ってマイナポータルから電子申請すれば窓口にお越しいただく必要はありません。学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までの1年間となりますので、毎年通学される場合でも、申請書を毎年提出いただく必要があります。

承認を受けた次の年度も引き続き在学予定である場合は、4月初めに再申請の用紙または年金番号が印字されたハガキが届きますので、引き続き学生納付特例制度の申請を希望される場合は、必要事項を記入の上、返送してください。ハガキ形式の場合は、在学中であることを証明する書類の提出は不要です。

なお、令和7年度は学生納付特例制度を利用せず、保険料の納付をご希望の場合は納付書を作成して送付します。お近くの年金事務所までお問い合わせください。

第38号

桃源だより

よさこいクラブ 梶原
(梶原町老人クラブ連合会)



11/1 高幡地区ボッチャ交流大会



10/16 ろうれんピック 2024



11/20 高幡地区老人芸能大会



11/11 研修旅行



12/12 元気ハツラツ&はちきん大会



1/24 芸能大会



12/21 会長杯ゲートボール大会

梶原学園1年生凧作り教室

2月26日に、会長・副会長2名で、梶原学園1年生の生徒さんと凧作りを行いました。「凧の足がパタパタして、走りたいよと言ってるみたい」「うまくあがって嬉しかった」と、たくさんの感想をもらいました。

子どもたちと触れ合うことでたくさん元気をもたらしています。今後も、このような機会をぜひ作っていただきたいと思います。



【下半期の事業報告】



日程	名称
10月16日	県老連 ろうれんピック2024
11月1日	高幡地区老連 ボッチャ交流大会
11月8日	町老連役員会
11月20日	高幡地区老連 老人芸能大会
12月12日	県老連 元気ハツラツ&はちきん大会
12月21日	会長杯ゲートボール大会
1月24日	若手実行委員会 芸能大会
2月18日	高幡地区老連 老人体育大会
2月26日	梶原学園1年生凧作り教室
3月4日	若手実行委員会 体力測定
3月6日	会長杯グラウンドゴルフ大会
3月12日	老人大学
3月19日	若手実行委員会 モルック体験会(予定)
3月26日	町老連第3回役員会(予定)

桃源だよりでは、年2回よさこいクラブ 梶原(梶原町老人クラブ連合会)の活動を町民の皆さんにご報告しています。

町老連 女性部

女性部は、定期的に定例会を開催しています。昨年12月17日の定例会では、保健福祉課の岡田さんと前田さんをお招きし、特殊詐欺の啓発と「尿もれ」について話をいただきました。

にこにこ喫茶

毎週火・金曜日に開催しているにこにこ喫茶では、認知症予防にみんなで歌を歌い始めました。「この歌覚えちゅう」「これ歌おう」とアカペラ歌唱が始まります。百歳体操も毎行い、体力作りに励んでいます。

にこにこ喫茶では、お手伝いしてくれる方を募集中です。興味のある方はぜひ、一度にこにこ喫茶にお越しください。



にこにこ喫茶

毎週 火・金曜日 13:00～

場所：集落活動センターゆすはら東

※都合により休みの場合もあります。



若手実行委員会活動報告

今年度は、陶芸教室・運動会・研修旅行・芸能大会・体力測定・モルック体験会を企画、実施することができました。芸能大会では、梶原オカリナクラブ様や梶原フラダンスクラブ様などの他団体の方もたくさん参加して頂き、参加人数83名と大変賑やかな大会となりました。

来年度も、皆さんが楽しんでいただけるような企画を実施していきたいと思っています。

また、日高村老人クラブ連合会の若手実行委員会から視察研修先に梶原町を選んでいただき、1月21日に



ゆすはら・夢・未来館にて意見交換会を行いました。日高村と梶原町では、若手実行委員会の取組が少し違うのですが、若手不足など共通の悩みも多くありました。お互いに参考になる話ができ、今後の活動に活かしていきたいと思っています。



↑日高村老人クラブ連合会
若手実行委員会 意見交換

見守り訪問活動報告

町老連では、毎月1回各地区の気になる方を訪問する見守り訪問活動を行っています。

昨年12月13日、町老連の見守り訪問を行っている会員と東区思いやり部会のメンバーで、一陽病院くらしサポート室室長橋本憲明氏による、ゲートキーパー養成講座に参加してきました。

ゲートキーパーとして「何かしな」と気負わず、普段から声を掛け合える関係を築くことが大事だと感じました。また、見守る側も心身共に健康である事が大切との話もあり、自身の健康面にも注意を払っていきながら、見守り訪問活動を継続していきたいと思っています。



県老連事業・高幡老連事業報告

今年度もたくさんの事業に参加させていただきました。（事業報告参照）

元氣ハツラツ&はちきん大会では、メンバーを募り「梶原ゆかいなダンサーズ」を結成し、ダンスを披露しました。今後、活動していきたいと計画しています。

高幡地区老連ポッチャ交流大会は梶原町で開催しました。1位から3位まで梶原町チームが独占。高幡老連会長は「来年は、打倒梶原！」と悔しがられていました。また老人体育大会でも、梶原チームは大健闘し、2位になることができました。準優勝を梶原町社会福祉協議会に飾っています。



高幡 老人芸能大会

ストレスと上手に付き合っていく

春は出会いと別れの季節です。新しい環境に身を置く人も多く、楽しみでありながら、不安を抱えている方もいるのではないのでしょうか。

進学や就職で新しい環境に移る方も多いこの時期に、ストレスとの付き合い方について少し考えてみましょう。

◆春はストレスを受けやすい

4月はこころの乱れが起きやすい時期と言われています。冬から春にかけて日ごとに気温が変化し、朝晩の気温差が大きくなります。人間には、外気温が変化しても体温を一定に保とうとする機能が備わっていますが、その体温調節を頑張ると体はとても疲れま

す。更に新しい環境などでもこの疲労が加わると、体もこころもストレスを受ける状態に。体やこころのバランスを保つ自律神経が乱れ、こころの乱れが起きてしまいます。自律神経が乱れた結果、頭痛や肩こり、下痢、便秘といった身体的な不調に表れることもあるため、注意が必要です。

◆自分なりのストレス解消法をもとう

適度なストレスは、仕事や勉強の効率を上げるなど、良い効果をもたらすこともあります。過度なストレスは様々な不調に繋がります。春のこころの乱れは、多くの場合、気温が安定したり、新しい環境に慣れてきたりする中で落ち着いてきますが、改善せずに長引いてしまう場合もあります。これは、『こころの弱さ』が原因ではありません。

みなさんは「これをすれば落ち着ける、気分転換ができる」と感じることはありますか？ 買い物に行く、美味しいものを食べる、散歩をするなど、自分なりの気分転換・ストレス解消法をもっておくようにしましょう。

◆悩みは誰かに「はなす」

特にストレス解消法が思いつかないという方におススメの方法を一つご紹介します。それは、誰かに「はなす」ことです。

「話す」ことは同時に「離す」ことでも「放す」ことでもあります。自分の中に閉じ込めていた思いを少し自分から離してみ、誰かと共有することで、自分だけでは見えなかったことに

気づくかもしれません。また、モヤモヤと抱えていたものを一旦手放すことでこころが軽くなるかもしれません。一人で解決が難しい悩みや困りごとがある方はまず、「誰かに話す」という方法を試してみてください。

◆悩みを抱えている人が傍にいたら

「誰かに話す」ことに勇気が必要な方もいます。あなたの周りに気になる人がいたら、左のイラストを参考に、「あなたのことを心配している」という温かな気持ちを伝えてみてください。そして、相手が話し始めてくれたら、これまでの苦勞をねぎらい、傾聴しましょう。この時に、相手は答えや解決策を求めているとは限りません。まずはゆっくりと話を聞き、相手を否定したり、一般論や自分の考えを押し付けたりはしないようにしましょう。

◆最後に

保健福祉課では、随時相談以外にも、心理カウンセラーによる月2回の相談

「元気ないけどどうしたか？」
「最近、眠れゆう？」
「心配しちゃうがよ」

実は…

「それは大変やったね」
「話してくれてありがとう」
「またいつでも話聞きてね」

悩みやストレスに関する相談窓口		電話番号
町内	梶原町保健福祉課(随時)	0889-65-1170
	心理カウンセラー相談(2回/月)	
町外	高知県立精神保健福祉センター	088-821-4966
	よりそいホットライン	0120-279-338
	チャイルドライン(※18歳まで)	0120-99-7777

「メンタルヘルス
サポートナビ」
QRコード



保健福祉課

日を設定しています。心理カウンセラーの相談を受けたい方は、日程調整をします。まずは保健福祉課までご連絡ください。相談したいことがまとまっていなくても大丈夫ですので、困った時はお気軽に相談ください。

また、高知県のメンタルヘルス情報サイト『メンタルヘルスサポートナビ』では、ストレス状態のチェックや悩みのカテゴリ別に相談窓口の検索ができます。興味のある方は、『メンタルヘルスサポートナビ』と検索するか、左のQRコードからアクセスしてみてください。

今、何か悩みを抱えている方は、一人で抱え込まず、誰かに相談するようにしましょう。

梶原学園 だより

人権参観日

1月18日に梶原学園人権参観日が行われました。落書きなど仲間を思いやれない言動が見られたので、「いじめ」や「相手を思いやる心」などを主題に、すべての学級が授業を公開しました。授業後の感想では「人によって傷つく言葉が違う：」「自分の行動や言葉に責任を持っていきたい」など、日常の言葉遣いに気をつけようとする児童生徒の声が多数聞かれました。

授業後には、PTA主催の人権講演会が開催されました。講師は、「命の授業」講演家の腰塚勇人さんで、「自分の命を喜び、大切な人の命を喜ばす『ドリー夢メーカー』

になろう」と自分自身のけがのこつとや周囲の支えの中で考えたことなどを語ってくれました。



スキー研修

2月3日に7年生スキー研修が行われました。4日の日には大雪になるなど、寒波の影響が心配されましたが、3日はちょうどよい、落ち着いた天候で、愛媛県の小田深山スキー場で、スキーを堪能することができました。グループに分かれて、それぞれインストラクターさんの指導を受け、みんながリフトを使ってスキーを楽しみました。



十歳の誓い

2月28日に4年生「十歳の誓い」が開催されました。これは、成人式が20歳を祝う集いに変わった事に合わせて、二分の一人式式を变化、発展させたものです。児童は10歳である証書を受け取り、その後、自分の将来の夢を語りました。今の自分を見つめ、将来について考える良い機会となりました。

また、これまで育ててくれた保護者への感謝の言葉を述べるなど、10年間の成長を確認することができました。



学習発表会

2月10日に梶原小学校学習発表会が行われました。大雪による2日間の休校があった関係で、準備もままならず急遽、平日開催となりましたが、たくさんさんの保護者の方が参観してくれました。その中で劇や器楽演奏など、それぞれの学級が趣向を凝らした発表を行うことができました。ありがとうございました。

梶原学園ホームページ



劇「まほうよりすごいもの」



椿高だより

家庭科研究発表大会 最優秀



高知県家庭科生徒研究発表大会「学校家庭科クラブ活動の部」において、椿原高校が最優秀に輝きました。大会は、1月15日に高知県教育センターで行われ、本校からは2年生の上田楽々さん、藤原萌愛さんが参加しました。

長年続けている茶堂ボランティアと、規格外野菜を有効活用して商品プロデュースした「椿原つめつめキーマカレー」の取組を発表しました。

企業学校見学

1月22日、1年生が企業学校見学に出かけました。訪問先は、技研製作所高知本社と高知大学物部キャンパスです。施設や設備を実際に見るとともに、担当の方からの話を聞くことは、大変貴重な体験です。生徒のキャリア形成に意義のある一日となりました。

訪問先で対応いただいた方から感謝申し上げます。



修学旅行

1月22日～25日、2年生は修学旅行に行ってきました。

1日目は、東京へ移動して気象科学館と矢崎総業株式会社を訪問、

2日目は、終日班別の都内自主研修、3日目は、東京ディズニーランドを訪問、最終日は、浅草とお台場を散策したのち帰路、という行程です。キャリアの学び、自主研修、観光など盛りだくさんの内容でした。

旅行期間中は天候にも恵まれ、また生徒たちの体調管理も行き届き、充実した日々を過ごせました。生徒同士たがいに親睦を深め、高校生活の思い出となる旅行になったと思います。

今回の修学旅行で、訪問を受けて入れてくださった企業・団体の方々、同行いただいた添乗員及び看護師の方、大変お世話になりました。





ゆすゆす3年生を送る会

1月29日、梶高の寄宿舎「ゆすゆす」(梶原町生涯学習交流センター)で、この春卒業する3年生の送別会が行われました。

1、2年生からの記念品贈呈、3年生一人ひとりからの挨拶と、終始和やかなひとときを過ごしました。また、この日の夕食は特別メニュー。寮の生徒たちは、おいしい料理に舌鼓を打っていました。

卒業式

3月1日は卒業証書授与式でした。多くの来賓、保護者、そして在校生と教職員に見守られ、37名の卒業生が梶原高校から巣立ちました。

卒業証書が一人ずつ校長から手渡され、式辞、祝辞、記念品贈呈の後、在校生代表の生徒会長武政泰さんによる送辞、そして卒業生代表の川上奏汰さんによる答辞がありました。答辞では、高校生活の思い出やお世話になった人への感謝、将来への決意などが述べられました。閉式後、卒業生は大きな拍手で見送られて式場を後にしました。



なお当日は、卒業式前に同窓会入会式が、卒業式後には生徒会が企画した「卒業生を送る会」が行われました。卒業生の健勝と今後の活躍を心から祈念します。



創立90周年記念事業 決算書

昨年11月に開催した梶原高校創立90周年事業におきましては、町内外より多くの寄付金を頂戴いたしました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

なお残金については、同窓会の活動資金及び創立100周年記念事業として、活用させていただきます。

収入の部

単位:円

摘要	決算額	備考
寄付金(奉加帳)	1,839,500	604件(うち16件部落一同、12件会社等より)
寄付金(その他)	20,000	2名様より
雑収入	66,145	野球部懇親会、記念式典祝賀会余り
計	1,925,645	

支出の部

単位:円

摘要	決算額	備考
需用費(消耗品費)	326,498	招待野球、記念式典における消耗品
需用費(印刷製本費)	321,200	招待野球、同窓会総会チラシの印刷代、同窓会通信印刷代
役務費(手数料)	3,977	同窓会総会新聞折り込み手数料
役務費(通信運搬費)	11,590	同窓会通信送料
交際接待費	444,092	招待野球における接待費、記念式典来賓用飲料水
計	1,107,357	

(収入) (支出) (残金)
1,925,645円 - 1,107,357円 = 818,288円

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

楽しみながら天然素材に親しもう

竹を使った弓矢作り講座を開催しました



2月16日開催

地域おこし協力隊の吉井香在さん、長谷川夏輝さんを迎え、竹を使った弓矢づくりを教えてくださいました。事前にパーツの下準備がされたキット一式を手にいざ制作開始。竹をしならせる工程では素材の強さに苦労するシーンも。天然素材の特性と、それを製品に活かす工夫を体感している様子でした。完成した弓矢を持って実際に的当てをする時も、コツを掴むまではなかなか飛距離が出ませんでした。最後はしっかりと矢を射ることができました。

スパイスで毎日の食事を豊かに

スパイス講座を開催しました



2月23日開催

梶原町でインド家庭料理店を経営する杉原健さんを迎え、家庭で実践できる本格カレーの作り方やスパイスの効能について、実際にスパイスの香りを楽しみながら教えていただきました。町内外から集まった参加者は皆さん興味津々。名前は聞いたことがあるスパイスの由来を知り、香りと一緒に感じた瞬間に感動する場面もありました。時間が足りないほど盛況で、終了後も多くの質問が寄せられました。スパイスの奥深さに触れる貴重な機会となりました。

大好きなこと、語り尽くそう

『人が集まる、文化が集まる! まちの個性派映画館』

著: 美木麻穂

ひと口に映画館といっても、成り立ちは様々。特徴ある映画館には「映画を鑑賞すること」以外にも魅力的なポイントが満載。建築的な魅力や独自の取り組みなど、個性豊かな劇場を6章立てで紹介する。



高知の映画館も掲載されています

自然と共に生きる

『私はヤギになりたい ヤギ飼い十二月』

著: 内澤旬子

酷暑、虫、体力の限界に抗いながら美味しい草を追う。小豆島の四季折々の雑草と雑木、畑の作物の盛衰をヤギを通じて眺める愉しみと、多頭飼いしているヤギたちの個性豊かな生き様を紹介する。



ご紹介した作品が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

4月の休館日

1日、8日、15日、22日、25日、30日

季節の短歌

軽トラの 窓から顔を 出す犬の
鼻の先から 季節が変わる / 朝田おきる

観光協会だより

都城市&日南市訪問レポート

持続可能なまちづくりを学ぶ旅

ふるさと納税日本一の宮崎県都城市と、商店街復興に成功した日南市を訪れ、それぞれのまちの活性化の取組を学んできました。

ふるさと納税で潤う都城市



道の駅 NiQLL

都城市は、ふるさと納税を活用し、地域経済を循環させる仕組みを構築。道の駅にはお土産や新鮮な野菜・お肉が並び、地域の特産品を活かした経済モデルが確立されていました。



都城市立図書館

また、ショッピングモールをリノベーションした図書館では、カフェやワーキングスペースが整備され、地域の学びと交流の場に。特に10代の方優先ス

ペース「ティーンズスタジオ」では、ファッションラボや食事スペースが用意され若者の創造力やコミュニティ形成を支援する仕組みが整っていました。

シャッター街を復活させた日南市



油津商店街

「シャッター街が復活した」と聞き、下町のような賑わいを想像していましたが、訪れてみると着いた雰囲気。ターインットでも買える時代、従来の商店街の形では維持が難しく、日南市はIT企業



閉業した喫茶店を改装したカフェ

ターインットでも買える時代、従来の商店街の形では維持が難しく、日南市はIT企業

を誘致し、「働く場」としての商店街へ転換。多くのIT企業が進出し、新たな雇用が生まれていました。

商店街には女性に人気のカフェや飲食店が並び、職場の近くにはこども園も整備。若者が地元に残る選択肢を持てるような仕組みが整えられています。

2つのまちに共通する「人を定着させる仕組みづくり」

都城市はふるさと納税を活用し地域経済を循環させ、日南市は商店街を働く場として再構築することで、新たな雇用を生み出しました。それぞれのまちの取り組みから、地域の特性を活かした活性化の方法を学ぶことができました。

観光協会でも、この学びを生かし、持続可能なまちづくりを考えていきたいと思っています。

1月の利用者数

宿泊者数

322人

(前年比58%)

ガイドツアー

人数 / 組数

52人 / 3組

ゆすはら雲の上観光協会

食のプロフェッショナルになろう!

高知大学土佐フードビジネスクリエーター 令和7年度受講生募集のご案内

高知大学土佐 FBC では、生産・加工・流通・販売を総合的に繋げることができる専門人材を育成することを目的に、高知県の産学官が連携し、主に県内の社会人向けに食品に関する専門教育プログラムを実施しています。

食品に関する専門知識を身に付け、研究開発の基礎となる知識・技術力を有した食品産業を担っていく人材を目指して、本プログラムを受講してみませんか? 皆さまのご応募をお待ちしています。

●プログラムおよび講習料 (4つのコース)

①本科コース	5つの科目群「食品人材育成・食品学・品質管理・マーケティング・食品ビジネス」を総合的に学ぶ	97.5時間	15万円	20名程度
②入門コース	5つの科目群から対象の9講義を学ぶ	25.5時間	5万円	10名程度
③部分受講コース	「食品人材育成」と好きな科目群を選択して学ぶ	25.5時間	5万円	5名程度
④イノベーション創出基礎コース	「食品人材育成」のみオンライン、その他は実習形式にて「化学基礎実験・食品機能・食品分析・品質管理・食品加工・情報検索」の技術を学ぶ	26.5時間	5万円	5名程度

●募集期間/令和7年3月15日(土)~4月18日(金) 午後5時必着

●実施方法/①②③は全ての授業をオンラインで実施、④は物部キャンパスにて対面で実施します。

●特典/「本科コース」修了生は「食の6次産業化プロデューサー」レベル1~3の取得資格が得られます。

★お問い合わせ先

高知大学物部キャンパス内 土佐FBCIV企画運営室

〒783-8502 高知県南国市物部乙200

TEL: 088-864-5158, 5138 (平日9:00~17:00) FAX: 088-864-5209

Mail: tosa-fbc@kochi-u.ac.jp ホームページアドレス: https://tosa-fbc.jp/



4月の行事予定

- | | |
|---|---|
| 6日(日) 梶原消防団入団式
春の全国交通安全運動(15日まで) | 12日(土) 区長・部落代表者会
大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー |
| 7日(月) 梶原こども園入園式・進級式
梶原学園始業式・入学式
梶原高校始業式・入学式・入寮式 | 13日(日) 四万十川流域一斉清掃
20日(日) 梶原町交通安全の日
23日(水) 第27回梶原町雲の上杯ゲートボール大会 |
| 8日(火) 人権相談・行政相談(10:00～15:00) | 26日(土) 梶原学園参観日・PTA総会
29日(火) 梶原令和の森林づくり |

※行事予定は変更となる可能性があります、ご了承ください。

4月の保健福祉課行事予定

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 3日(木) 四万川宅老所 | 16日(水) 愛育相談 |
| 4日(金) 初瀬いきいきふれあい広場 | 17日(木) 四万川宅老所 |
| 7日(月) げらげら家族会 | 18日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| 9日(水) 松原サテライトデイサービス | 24日(木) 四万川いきいき交流会 |
| 10日(木) 越知面デイサービス友の会
東区宅老「えくぼ」 | |

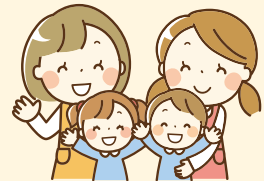


月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)……21日(月)、22日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【ふるさとづくり寄付金】

岩田 美恵子様(大阪府)
宮本 喜弘様(香川県)
他匿名希望の方 22名

【その他のご寄付(香典返し)】

村田 里美様(六丁)
故村田弘榮氏逝去に伴う(社会福祉へ)
川上 博史様(田野々)
故川上睦子氏逝去に伴う(林業振興へ)

お詫び

2月号のおくやみ記事にてお名前の表記誤りがありましたので、お詫び申し上げます。
正しくは次のとおりです。

(誤) 村田 久榮
(正) 村田 弘榮

● おくやみ

住 所	死亡者名	年齢	死亡年月日
上 成	森山 和隆	92	令和7年1月20日
田野々	川上 睦子	90	令和7年2月5日
上 成	西村 良一	89	令和7年2月18日
上本村	中越 舒枝	95	令和7年2月24日
川西路	中平 光男	87	令和7年2月26日

● おめでた

住 所	出生者氏名	出生年月日	保護者
川西路	にのみや そあ 二宮 笙逢	令和7年1月29日	二宮 友朗

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

文芸

柚子の木俳句会

火事多き峡の如月風強し

西村由利子

マスク越し朝五時半の余寒かな

西森 誠子

一度二度余寒を愉しむ朝寝かな

中平 忠雄

雪解けに小谷の水も勢いて

中越 郁子

土佐久礼の余寒の汐湯へ三世代

渡辺 瑞枝

春隣孫は一人でトイレへと

吉田 敬子

降る雪や奥四万十に我生れ

中越 昌一

バレンタイン明日は年金振込日

広瀬 卓雄

「バレンタイン明日は年金振込日」
中学生の頃、念のためゲタ箱や机の中を確認した
たが何もなかった。サラリーマン時代は、新婚当
初の妻、会社で義理チョコ、スナックの娘にもらっ
たなあ。今は何もない。あ、そうだ。明日は、大
事な年金振込日だった。

杉の子俳句会

落椿わかし葉に通して首飾り

明神伊佐子

葺き替えの茅葺き職人桜東風さくらどうふう

掛橋 初子

地下足袋は十一文で農始

下元 廣幸

癪毛切る龍馬も癪毛春の宵

川田 早苗

雪まろげ少女のお国は海の果

久岡 智子

大雪に何をしてるか友に問ふ

氏原 陽子

日だまりに花菜の蕾見つけたり

西村 蓉子

たき火するマッチのラベル桃印

西村 幸枝

お日さまに押されどずんと垂り雪しず

内野 純子

寒の水殺菌作用や餅浸ける

大崎みなと

田楽ほづぎよや呆魚ぼろぎよの味の懐かしや

影浦 鉄心

「落椿葉に通して首飾り」
赤い椿を沢山拾います。仲良しの友達とわいわい
騒ぎながら首飾りを作りました。冬は雪滑りや縄跳
び、日だまりでままごとなど遊びには事欠かない
日々でした。懐かしい思い出を一句にしたためて
ほのぼのとした情景が浮かびます。

広報委員のつぶやき

毎月の広報にわが町の人びとの動きが記載され、そろそろ町の人口が3000人を切ろうかというところまで来ています。広報を選んでみますと、町の人口が5000人を切ったのが平成24年4月で4926人、4000人を切ったのが平成21年6月で3999人です。この間約19年で1000人が減っています。現在令和7年は平成37年ですから、今年3000人を切るようなことがあると、約16年で1000人が減ることになります。国では人口減少が国家的課題だとして力を入れていますが、相変わらず若者は都市部に吸い寄せられ、地方の人口減少と東京一極集中が続いています。

社会のありようが戦前と戦後の現在とでは随分と変容いたしました。大正、昭和の時代は家々では山地や農地を所有し生活の中で活用され、相続人が家に残り財産を引き継いで管理してきたものですが、今では相続人が家におらず他地域で暮らしているため相続された土地の活用ができなくなっています。とにかく我が家周辺に土地を持つてくれている人が町民であるならば、その部分については管理しているでしようが、人口減は不在地主の増加といふことなので、やがてはただの山地に変容していくのでしよう。

家籠戸（かろうと）など「昔、人が住みよったものよ」と言いますが、あと15年後、町の人口が2000人位になった頃には、町内の至る所でそういう会話がされるような場所が出てくるのでしようか。

相続登記が罰則付きで義務化され、否応なく登記をしなければならぬものの、登記をしたところで不在地主の解消にはなりません。国の土地所有に関する制度は旧態以前でとにかく相続となっているため、相続人はほしくもない土地を持たなければならなくなっています。売りたくても売れない、持たない自由がないのです。こういうところも国の制度改革が必要だと思っています。

今井 久光氏

高知県安全安心まちづくり功労団体等表彰受賞



受賞された 今井 久光氏

梼原町スクールガード・リーダーの今井久光氏が、2月19日に高知市で執り行われた表彰式で、高知県安全安心まちづくり功労団体等表彰を受賞されました。

今井氏は、令和2年に梼原町スクールガード・リーダーに委嘱され、梼原学園内外の巡回安全点検や、通学路における登下校時の児童への声かけや見守り、青色回転灯装着車両での町内巡回による安全確認、全国地域安全運動期間中における他機関合同による管内一斉の防犯パトロール

などを継続して行っていたいいます。地元住民の信頼は厚く、防犯活動の牽引役として梼原地区の安全で安心なまちづくりの推進に貢献されたことから、今回の受賞となりました。

今井様、誠におめでとうございます。今後も、梼原町の安全で安心なまちづくりの推進にお力を貸していただきたいと思います。

梼原町スクールガード・リーダーとは

梼原町教育委員会から委嘱された、防犯・地域安全活動の専門家です。

学校周辺及び子どもの登下校時の巡回パトロールや、学校内の安全管理に係る助言を行っています。



生涯学習課

「広報ゆすはら」の表紙写真を募集しています。

応募方法等の詳細は役場総務課(☎65-1111)までお問合せください。

梼原町のいろいろなサイトをご紹介します

ゆすはら散歩

奥四万十時間
Instagram



ゆすはらキャンプ場
Instagram



ゆすはら雲の上観光協会
Instagram



四国カルスト広域連携推進協議会
Instagram



ライダーズイン雲の上
Instagram



わが町の人びとの動き

世帯数

1,681 (2月末) / 1,686 (1月末)

人口

3,075 (2月末) / 3,079 (1月末)

出生	死亡	転入等	転出等
2	5	6	7